



たんぽぽ組だより 11月号

平成29年11月20日 ことり保育園

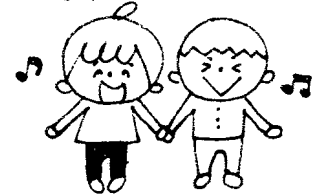


担当: 安友

園庭の木々もすっかり葉を落とし、吐く息の白さに冬の訪れを感じます。

先日はお忙しい中、保育参観にご出席いただき、ありがとうございます。初めての“はじめてを使った作品づくり”を親子で楽しんでいただき、製作への興味・関心が深まったと思います。

さて、生活のさまざまな場面で、自分のことだけでなく友だちの姿にも目を向けられるようになってきた子ども達。帰りの会でこんな出来事がありました。ピアノの音を合図に立ち上がり、歌をうたう際、座ったまま周りの様子を見ていた女の子に、隣の席の男の子が“す、と手を差し伸べ”一緒にせろ”と誘ってくれたのです。嬉しそうに立ち上がり、手を繋ぎながらうたう2人は、(本当は振りをつけるのですが…)じか”温かくなりました。



また、給食の時間には、同じテーブルの子のお皿を指差して「〇〇くん野菜食べてない」と言う女の子。ふとその子のお皿を見ると、やはり野菜が残っていました。「△△ちゃん、一口食べてと、とても美味しかったから〇〇くんにも教えてくれたんだね。じゃあ2人で一緒に食べておようか!」と保育者が声を掛けると、2人は顔を見合わせながら、大きな口をパクッ! モグ...モグ...モグ...。実は野菜が苦手な〇〇くんと△△ちゃんも、“一緒に”なら頑張れたようです。周囲との関わりを通して、

思いやりの心で頑張ろうとする意欲を受け止め、大きく育んでいきたいです。

